

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

科目名 博物館情報・メディア論 （ 2024年6月25日作成 ）

氏名 谷 里佐

No.1

内容 （〇〇する 力がある） 事実、概念、 手続き、メタ認知	想起する	理解する	応用する	分析する	評価する	創造する
	（再認、再生）	解釈、例示、分類、推 論、比較、説明	実行、遂行	比較、組織 結果と原因	チェック、判断	生み出す、計画 できる、汎化
1. 対面授業	博物館情報・メディアの基礎理論について、調べることができる	博物館情報・メディアの基礎理論を説明できる				
2. 博物館と情報	博物館活動の基本要素をまとめることができる	資料の流れと情報の流れについて比較し、説明できる		資料のドキュメンテーションの役割について説明できる		
3. 資料の管理と記述		記憶と記録の違いについて具体的な事例を挙げることができる	レコードマネジメントについて説明できる	博物館資料を記述する際の基本的ルールについて説明できる		
4. 資料の記述項目とメタデータ	博物館資料情報の特性について調べまとめることができる	博物館資料のメタデータの事例を挙げることができる	博物館資料情報の概念間の関係について説明できる			
5. 対面授業			博物館情報資源の記述についてまとめ、論述できる		e-learning で学んだ博物館資料情報の基礎知識	

					に関する問題に解答し、知識の習熟を確認できる	
6. 情報メディアの歴史と意義	データと情報の違いと DIKW モデルの概念について理解できる	博物館に関わるメディアの事例を複数挙げる事ができる		情報メディアの歴史の変遷からその意義や意味を自分の考えとしてまとめることができる		
7. 博物館の情報発信		博物館の情報にはどのようなものがあるか説明できる	e-Stat を用いて博物館における情報提供方法についてデータに基づき説明できる	博物館ホームページや SNS での情報提供の事例とその効果についてまとめることができる		
8. 展示とメディア		展示に利用される情報メディアについて、事例を複数挙げる事ができる	「展示は総合的なコミュニケーションメディア」とはどういうことか説明できる			
9. 博物館における知的財産	著作権などの諸権利について調べ、理解できる		博物館における権利処理の方法について具体的にまとめることができる			
10 以降. 対面授業					e-learning で学んだ博物館資料情報の基礎知識に関する問題に解答し、知識の習熟を確認できる	デジタル展示の製作を行い、発表の上、自己評価、他己評価を行う

タキソノミーテーブル

学科・専攻【 デジタルアーカイブ専攻 】 科目【 博物館情報・メディア論 】